

招集期日	令和8年2月4日(水)		会議の場所	301会議室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後1時30分	開会者	教育長
	閉会の時刻	午後3時00分	閉会者	教育長
委員出席状況				
氏名	摘要	氏名	摘要	
川島規行教育長	出席	田村和代委員	出席	
柿沼拓弥教育長職務代理者	欠席	太田澄子委員	出席	
駒澤幸浩委員	出席			
議事参与者及び 説明のための出席者	高野学校教育部長	新井生涯学習部長	米花教育総務課長	柿沼学校教育課長
	田口学校給食センター所長	渡邊生涯学習課長	根岸スポーツ振興課長	阿久津図書館長兼郷土資料館長
書記名	教育総務課総務係 平川			傍聴人 なし
会議事件名	て ん 末			
開会 日程第1 前回会議録の承認	教育総務課長	本日、傍聴人はない。		
	教育長	2月定例教育委員会を開会		
	教育長	教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する案件等について出席委員の3分の2以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程の中で議案第1号から第3号は、議会の議決を経るべき議案のため、非公開としてよろしいか。		
	教育長	異議なしの声あり		
	教育長	議案第1号から第3号を非公開とする。		
	教育長	1月定例教育委員会の会議録について諮った。		
		異議なしの声あり		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 令和8年4月組織改正 について</p> <p>報告事項2 令和7年度文部科学 大臣優秀教職員表彰 について</p> <p>報告事項3 令和8年羽生市二十 歳の集いの結果につ いて</p>	教育長	<p>前回会議録は、承認された旨宣した。</p>
	教育長	<p>報告事項1について、教育総務課長から説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針が一部改正され、令和11年度に西中学校区及び南中学校区における小学校の再編成を行うことが示されたことを踏まえ、教育総務課に新たに係を設置し、事務体制の強化を図るものである。具体的な対応策として、令和8年4月から教育総務課に「学校再編成係」を新たに設置する。学校再編成係が所掌する事務については、記載のとおりである。</p>
	教育長	<p>報告事項2について、学校教育課長の説明を求めた。</p>
	学校教育課長	<p>文部科学省において、学校教育における教育実践等に顕著な成果を挙げた教職員を、優秀教職員として表彰することとしている。今年度、羽生東小学校の佐藤紘子教諭が受賞となった。実践分野は、学年・学級経営の分野である。豊かな人間性と高い指導力、温かな児童への関わりなどで学級経営の模範を示すとともに、丁寧な対応と的確な指導・助言で、教職員や保護者から厚い信頼を得ている点が評価された。</p>
	教育長	<p>報告事項3について、生涯学習課長の説明を求めた。</p> <p>二十歳の集いの開催日や日程は、記載のとおりである。参加状況について、今回該当者500名のうち、334名が式典に参加し、参加率は66.80%であった。昨年度より約2%減少している。保護者等の観覧者数は139名であった。二十歳の集いは、実行委員会のメンバーが記念品の選定や当日の進行等を主体的に行</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 第21回羽生市フロアカーリング大会の結果について</p>	<p>教育長</p> <p>スポーツ振興課長</p>	<p>い実施した。実行委員会が作成した中学校ごとのオリジナルムービーの上映は大変好評であった。また、オープニングの前に、自身も二十歳の集いの該当者であるレゲエシンガーYutenさんに歌を披露していただき、客席と一体となって大変盛り上がった。全体としては、トラブル等も特になく、落ち着いた雰囲気の中で執り行うことができた。来年も、人生の節目で二十歳の皆様の門出を祝い、励ますとともに、将来の幸福を祈念するため、取り組んでいく。</p> <p>報告事項4について、スポーツ振興課長の説明を求めた。</p> <p>本市で普及しているニュースポーツ「フロアカーリング」を通して、生涯スポーツの推進・振興を図るものである。令和8年1月18日（日）に開催され、58チーム204名が参加、26名のスポーツ推進委員が運営に携わった。競技結果について、午前中に参加した58チームが10ブロックに分かれて予選リーグを行い、午後から各ブロックの順位ごとの決勝トーナメントを行った。結果は別表のとおりである。会場には勝敗にかかわらず、多くの笑顔とともに、また参加したいとの声をいただいた。盛大に開催することができ、参加者同士の交流を通して楽しくフロアカーリングに触れる機会を設けることができた。また、スポーツ推進委員だけでなく、参加チームに得点係をお願いすることで、スムーズに大会を運営することができた。今後もフロアカーリングの競技人口を増やすため、一層関係団体との連携を深め、さらなるフロアカーリングの普及拡大に努める。</p>
<p>報告事項5 令和7年度リサイクルフェアの結果について</p>	<p>教育長</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>報告事項5について、図書館長兼郷土資料館長の説明を求めた。</p> <p>令和7年12月18日（木）から12月21日（日）までの四日間、市立図書館・郷土資料館の展示室を会場に、4,722冊の本を提供し、2,809冊を配布することができた。内訳は、公共施設の8施設、市民386人に御来館いただき、配布した。残った</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項6 臨時代理の報告について 放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について</p> <p>報告事項7 その他</p>	<p>教育長</p> <p>生涯学習課長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>駒澤委員</p> <p>教育総務課長</p>	<p>資料 1,913 冊の内訳は、週刊誌や月刊の文芸誌、古い実用書が多くを占めた。初日は例年同様 30 人程度の方が開館前から並ばれていたが、大きな混乱もなくスムーズに提供ができた。公共施設の利用が少なく、一般も二日目と三日目の入場者数は伸びなかった。多くの市民の方に喜んでいただけて、貴重な資源の有効活用につなげることができた。</p> <p>報告事項 6 について、生涯学習課長の説明を求めた。</p> <p>新郷第一小学校の放課後子ども教室運営委員会委員萩原淳氏から、令和 8 年 1 月 19 日付けで自己都合により辞任する意思表示がなされた。後任の委員として、新郷第一小学校 PTA 副会長である軽部美季氏の推薦をいただいた。令和 8 年 1 月 29 日に新郷第一小学校放課後子ども教室運営委員会の開催に伴い、後任の委員として選出するため、緊急に事務処理をする必要があることから、羽生市教育委員会教育長に対する事務委任規則第 3 条第 1 項の規定により、放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について、臨時代理にて処理したため、同条第 2 項の規定により報告するものである。</p> <p>その他の報告を求めた。</p> <p>特になし</p> <p>報告事項に関し、意見・質問を求めた。</p> <p>報告事項 1 について、教育総務課が二つに分かれて学校再編成係ができた際、人員が増えるのか。それとも今の人数のまま総務係の人員を割いて、学校再編成係に配置するのか。</p> <p>学校再編成係の人数については人事案件になるため、正式な</p>

会議事件名	て ん 末	
	駒澤委員	<p>人数は現時点では分からない。係が一つ増えることで、係長職が一人追加になることは間違いないが、係が二つになることでトータルの人数が現在より増えるか、現状のままで分けるのかについては、人事の結果が出るまでは分からない。</p>
	教育総務課長	<p>実質的に一人増えた方が望ましいか。</p>
	駒澤委員	<p>教育総務課からの要望としては、総務係は現状のまま、学校再編成係が設置されることで、係長と担当、合わせて二人を新たに配置していただけないかと相談をしている。</p>
	駒澤委員	<p>多忙に業務をなされていると思うため、是非一人増えることを願っている。</p>
	田村委員	<p>報告事項 4 について、スポーツ推進委員として参加した。ムジナもん体操を踊ったが、今回も市長、教育長、来賓の方々に踊っていただいた。今年も「元気が出た」と声をかけられ、これからも続けたいと感じた。今回優勝した須影チームは、コミュニケーションの場としながら、競技として向き合い、練習に励んでいると感じた。今回は小・中学生の参加が少なかったが、フロアカーリングをただの体育の授業としてではなく、市としてこういったものがあるという認識を深めていただきたい。寒い冬でも体育館でできるスポーツであるため、是非今後とも、学校で推進していただきたいと思う。</p>
	スポーツ振興課長	<p>フロアカーリングは、平成 13 年からスポーツ推進委員を中心に市で普及が始まり、今まで様々な大会や講習会を通して普及を進めてきたものである。今年度、羽生地区で実施したフロアカーリングの大会等を見ると、20 代の方々も参加をしている。なるべく若い方々にも出ていただけるような形を作っていければと思っている。また、今後、フロアカーリングの競技人口を増やしていきたいと考えている。学校教育部等との連携をしながら、可能な取組があるかどうか、今後の普及に向けて進めていきたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
	駒澤委員	<p>フロアカーリングが長く続いており、認知度も高まっていることは、多くの方の努力が実っている成果だと思う。フロアカーリングを長く続けていく中で、最終的な目標はあるか。例えば、競技人口を人口の何%まで増やす、大きな大会に参加する、又は催す立場になるなどあるか。</p>
	スポーツ振興課長	<p>今後のフロアカーリングの展望としては、現在少しずつ連携を図っているが、市のレクリエーション協会の中にフロアカーリング協会という組織が立ち上がっており、自主運営を令和3年度から始めている。市のフロアカーリング協会の大会も年に2回開催しており、令和7年度は、市のフロアカーリング協会が中心となって県のフロアカーリング協会を立ち上げ、県のレクリエーション協会にも登録をした。県のレクリエーション協会の事業であるニュースポーツセミナーで、県内の東部地区、北部地区、南部地区の3地区において、フロアカーリングの講習等があったため、県フロアカーリング協会を中心に訪問した。今後の目標は、フロアカーリングの競技人口を増やしつつ、市が普及、運営しているものを、市フロアカーリング協会に引き継ぐことを目標にしている。具体的な時期は決まっていないが、スムーズな引継ぎに向けて準備を進めていきたい。</p>
	駒澤委員	<p>報告事項2について、佐藤教諭が受賞され、こういった方が増えていけばいいと思った。佐藤教諭が行っていた取組が、どのように他の教職員に広がっていくのか。また、広められる機会はあるのか。</p>
	学校教育課長	<p>現在、羽生東小学校は県の研究委嘱学力向上の指定校を受けており、その中心となっているのが佐藤教諭である。羽生東小学校で佐藤教諭を中心とし、先生方で作り上げてきたものを、県の研究発表会や東部地区の研究発表を通して、県内に広げた。昨年度、県の優秀教員も受賞していることから、授業公開を開催した。その際に市内の先生方も授業参観に来て、授業改善の工夫等について見ていただいた。令和2年度から令和6年度も文部科学大臣表彰を受けた先生が他にもいるため、そういった</p>

会議事件名	て ん 末	
		先生方の授業について、学校内にとどまらず、市内にも反映していきたいと考えている。
	駒澤委員	一人の優秀な卓越した人がいるよりも、多く優秀な人が増えることの方が大事であると考えている。少しでもそういった働きかけや考えが多くの教職員に広まれば、ベースアップが図れると思う。良いことを浸透できるような仕組みを作り続けていただきたい。
	学校教育課長	市としても、小林秀三賞を設置しており、素晴らしい教員はたくさんいる。一人の一步よりも、10人、100人の一步という形で、先生方に頑張っていたいただきたいと考えている。
	教育長	小林秀三賞を受賞した先生は、累計何人ほどいるのか。
	学校教育課長	平成24年か25年から設置し、多くの先生が受賞している。
	教育長	教員だけでなく、昨年度は事務の先生も受賞した。市全体の押印廃止を先駆けて行っていただいた。
	学校教育課長	昨年度受賞された事務の職員は、働き方改革を推進していただいた。
	駒澤委員	報告事項3 二十歳の集いについて、参加率が下がっているが微減で済んでいるのは、皆さんの努力の賜物だと感じる。中学校単位でおそらく写真を撮っていたが、東中学校区が比較的人が多く、西と南は比較的少ないように見えた。中学校単位の参加人数や比率はデータとして出ているか。
	生涯学習課長	データがないため、調べて後日お伝えする。
	駒澤委員	町の中の人材は、市外に出る方が比率として多いと思った。意識の問題というより、物理的な問題で人が流出している可能性が高いと思い、人数について気になったため質問した。 また、現在の二十歳の集いと、昔の成人式とでは、イメージが大きく変わったという声があった。例えば、二十歳になった

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 令和8年度羽生市教育委員会・教育研究会研究委嘱校一覧について（案）</p>	生涯学習課長	<p>からこそ、大人としての振る舞い、犯罪をすると表に出てしまうことなど、格言のようなものが訴えかけられると思っていたが、式が終始ポップな雰囲気で行われたという声があった。それが良いか悪いかは別として、保護者側からすると、普段対面で子どもに対して言えないことを、市長から言っただけなどあれば良かったという声の一部があった。二十歳の集いを立ち上げるまでの間に、こういったことをより明確に伝えるべき、より人が多く参加するお祭りのようにしたいなど、会議の中で話し合ったことが分かれば教えていただきたい。</p>
	教育長	<p>市長から、大人になる上での訓示のような言葉があってもいいと思う。今回、端末を使って市の誇りと自慢を挙げ、そこに多く時間を割いていた。これまでもそういった訓示がプログラムになかったが、そういった意見も一部あるということで、次回以降参考にして、内容を考えていく。また、多くの人に来ていただくための取組をしているが、例年6割から7割の間の出席である。行田市と加須市にも聞いたところ、約7割前後で、比率的同じぐらいであった。せつかくの門出であるため、今後多くの人に参加いただけるように考えていきたい。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	学校教育課長	<p>協議事項1について、学校教育課長から説明を求めた。</p> <p>令和8年度の研究発表校は、須影小学校、岩瀬小学校で、教科は算数である。研究委嘱を行うのは、羽生北小学校、羽生南小学校、西中学校である。緑化の委嘱が川俣小学校である。なお、緑化研究の発表校については、本来であれば今年度は羽生東小学校が該当であったが、開校1年目ということで過重な負担を考慮し今年度の委嘱を見送ったため、来年度の発表校はな</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	<p>い。また、表について、再編成となる令和 11 年度以降を調整し、各中学校ブロックでまとめたものである。</p> <p>協議事項 1 について、意見・質問を求めた。</p>
	駒澤委員	<p>緑化の部分について、ムジナモが絶滅危惧種から野生復帰したが、三田ヶ谷小学校が再編成になった関係で、何校かにも広く伝わっていることは見聞きしている。ムジナモを育てるといふ取組はどれだけの学校で行われているのか。</p>
	学校教育課長	<p>ムジナモに関しては、今年度手子林小学校が緑化の発表を行った中で、学校の敷地内の池でムジナモを生育させているということを発表していただいた。三田ヶ谷小学校で行ってきたムジナモの飼育については、同じ東中学校ブロックにそれぞれムジナモを観察できるような水槽を置き、子どもたち、先生方も観察できるようになっており、各校環境委員の子どもたちを中心に管理を行っている。市役所のロビーにも置き、保存会の方に管理をしていただいている。学校では現状東ブロックのみであるが、市でも野生復帰ということで取り上げているため、今後広げていけるよう検討している。</p>
	教育長	<p>地域の特性を残していく中でも全学校で取り組むのは難しいため、各学校長にお願いして、何を特色にし、活かすかということをお願いしている。そういった意味で、この研究委嘱校については、それぞれの中学校ブロックで必ず一つ発表をしていくことになっている。再編成が終わる令和 11 年度からの様子を見ると、表の二重丸の学校で必ず行われるように組み合わせており、緑化に関しては市全体で順番に回している。</p>
	教育長	<p>協議事項 1 については、よろしいか。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4</p> <p>議案第1号 議会の議決を経るべき議案について（令和7年度一般会計補正予算（第12号）のうち教育費について）</p> <p>議案第2号 議会の議決を経るべき議案について（令和7年度一般会計補正予算（第13号）のうち教育費について）</p> <p>議案第3号 議会の議決を経るべき議案について（令和8年度一般会計予算のうち教育費について）</p>	教育長	異議なしの声あり
	教育長	協議事項1については、承認された旨宣した。
	教育長	議案第1号から議案第3号については、会議を非公開とする。
	教育長	(会議非公開 可決)
	教育長	(会議非公開 可決)
	教育長	これより、会議を公開する。
	教育長	議案第4号について、学校教育課長から説明を求めた。

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第4号 令和7年度羽生市学校運営協議会委員の委嘱について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>羽生市学校運営協議会規則第6条第2項の規定により、次のとおり羽生市学校運営協議会委員を委嘱することについて、議決を求めるものである。具体的には、新郷第二小学校では、以前の児童養護施設のセンター所長が担っていたが、所長の交代で、新しく所長になられた方に委員の委嘱をお願いするものである。任期は、令和8年2月4日から令和8年3月31日までである。</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第4号について、意見・質問を求めた。</p>
	<p>教育長</p>	<p>特になし</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第4号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第4号については、可決された旨宣した。</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第5号について、生涯学習課長から説明を求めた。</p>
<p>議案第5号 第4次羽生市子ども読書活動推進計画の策定について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>国が平成13年に定めた子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、市では平成23年3月に、羽生市子ども読書活動推進計画を策定した。平成28年3月に第2次計画、令和3年3月に第3次計画を改定し、子どもの読書環境の整備充実に努めてきた。令和8年3月をもって、第3次計画の計画期間が5年間で満了することから、これまでの成果と課題を検証するとともに、家庭、学校、図書館、地域等の社会全体で子どもの自主的な読書環境を支える環境を整えるため、別添のとおり、第4次計画を決定することについて、議決を求めるものである。</p> <p>別添の第4次羽生市子ども読書活動推進計画（案）に沿い、</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>概要を簡潔に説明する。令和7年7月に小・中学生へのアンケート調査を行った。令和4年度のアンケート調査結果と比べて、小・中学生の1か月に1冊も本を読まない「不読率」が増加していることが判明した。小学生は4.8%から8.6%で、3.8%の増加、中学生は4.3%から7.5%で、3.2%増加した。このことを受け、不読率を低減させるための計画を作成した。前回の計画との変更点について、「不読率」については、従来は小・中学生を対象としていたが、今回の計画は18歳以下までを対象とし、「不読率」「1か月に5冊以上本を読む子どもの割合」の項目に高校生を追加した。令和7年7月の小・中学生へのアンケートにおいて、市立図書館に行かない理由で一番多く挙げられたのが、「図書館へ一人で行くことができない」で26.5%、「家族や友人に誘われることがない」が20.4%、「場所が分からない」が19.2%であった。この三つの理由で66.1%を占めていた。これを受けて、学校等における読書活動の推進を掲げ、GIGAスクール構想に基づく、学習用パソコンを活用し、小・中学生の読書活動を推進する計画をした。これを受け、市立図書館では、令和8年度から電子書籍を購入し、実施する予定となった。電子書籍はインターネット端末から容易に閲覧ができるため、子どもたちをはじめ、多くの市民の方に読書の機会を多く提供することができる。また、市立図書館における読書活動の推進で、多様な子どもたちへの読書機会の提供として、点字資料、布絵本、DAISY図書等のバリアフリー図書「りんごの棚」の普及を図るという計画とした。今後も、点字資料の他にも様々な本を設置することで充実を図っていく。令和8年から令和10年までの3年間という短期的な計画ではあるが、今後も家庭、学校、図書館、地域などと連携し、計画を推進していく。</p>
	教育長	議案第5号について、意見・質問を求めた。
	教育長	電子図書というのは、市立図書館に設置されるということか。
	生涯学習課長	予算的には図書館の方の費用となるため、詳細については分

会議事件名	て ん 末	
	駒澤委員	<p>からない部分も多い。現在は、書籍の費用として本を買っているが、一部を電子書籍に変え、令和 8 年度はそういった環境を作っていきたいと聞いている。</p> <p>「不読率」が年々増えているが、今の生活の様式を考えると、半ば致し方ないところもあると思う。紙で販売される媒体もおそらく年々減りつつあり、もちろん図書館等にある書籍は昔から語り継がれており、伝統的なものも多くあるため、手に取って読んでいただくことが一番良いことであると思う。しかし、電子書籍の導入等のデジタルへの対応を検討しているため、今後の数字の拾い方も変わると思う。「不読率」が少しでも減ると、おそらく何か効果が出てくると思っている。本を読むことで、学力が一定数上昇することの効果は得られるという答えも出ていた。あがいても数字が改善できないという、半ば雲をつかむような状況にはなっていると思うが、紙の書籍を少しでも手に取ってもらう等、文字に触れてもらったり、絵を見てもらったりする機会を増やすことに努力をし続けなければならぬ。つらさもあると思うが、皆様の立場でできることから少しずつ変えていただくほかないと思う。</p>
	生涯学習課長	<p>県内では、既に多くの市町村で電子書籍が採用されている。今回この計画を審議していく中で、市立図書館の職員も事務局として入っていただいた。電子書籍の必要性や、「不読率」を下げなければならないという使命から、電子書籍の予算化につながったことは、非常に喜ばしいことであると思う。電子書籍を導入したことにより、3年後のアンケートで不読率が減少していれば良いと思っている。</p>
	教育長	<p>高等学校のアンケート調査は、市内にある 4 校の高校生に聞くのか。</p>
	生涯学習課長	<p>市内にある高等学校でアンケートをとった。</p>
	教育長	<p>市内に住んでいる高校生以外も含まれるということで良いか。</p>

会議事件名	て ん 末	
閉 会	生涯学習課長	<p>在学中の高校 2 年生を対象にアンケートをとったため、市外から通っている高校生も対象になる。</p>
	教育長	<p>議案第 5 号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第 5 号については、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>第 1 回臨時教育委員会を 2 月 25 日（水）午後 1 時 30 分から、教育委員室にて開催する。また、3 月定例教育委員会を 3 月 18 日（水）午後 3 時 30 分から、301 会議室にて開催する。なお、同日午後 2 時から、総合教育会議を予定している。</p>
	教育長	<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>